



巻頭言

国際技術協力分野での活躍に期待

友松靖夫 (財)砂防・地すべり技術センター理事長

21世紀に入って、早くも4年目を迎えました。まさに“光陰矢の如し”です。

わが(財)砂防・地すべり技術センターも大勢の方々の信頼をいただき、おかげさまで順調に発展してまいりました。近年では、内閣府や防衛施設庁、あるいは東京都といった比較的砂防事業とは縁のうすい機関からも、各種の業務を委託されております。多くのユーザーの皆様方のご支援に対しまして心からお礼を申し上げます。

今世紀に入り、当センターでは従来からの業務以外に、新しい分野が広がりました。国際技術協力分野です。

国際技術協力や、国際会議等が増えていく中で、砂防関係の公益法人においても、対外的な窓口を設けておく必要があるだろうと、2000年6月に企画部の中に国際課を設置いたしました。また、同年9月には、緊急調査等の派遣依頼があっても直ちに対応できるように、建設省時代に長期専門家として各国で活躍された方々に、海外担当の非常勤顧問を委嘱し、当センターの職員以外にも派遣が可能のようにいたしました。

現在国土交通省では、JICA技術協力プロジェクトとして、ネパールにおける「自然災害軽減支援プロジェクト」、フィリピンにおける「治水砂防技術強化プロジェクト」、インドネシアにおける「火山地域総合防災プロジェクト」、中国における「中国水利人材養成プロジェクト」が実施されています。また、個別専門家派遣による技術協力が、イランやベネズエラで実施されています。

さらに諸外国からの技術研修員を受け入れ、「火山学・砂防工学研修」や「カウンターパート研修」、「イラン国別特設研修(砂防)」が毎年行われています。このほか、2001年以降フィリピン、ベネズエラ、中国、インドネシア、イラン、アルメニア等の諸国においてさまざまな開発調査も実施されています。

また、平成14年度(2002年4月～2003年3月)だけでも次のような国際会議が開かれています。

- (1) 土砂災害に関する国際会議
(INTERPRAEVENT2002)
- (2) 日伊土砂災害防止技術会議
- (3) 第3回世界水フォーラム土砂委員会
- (4) 台風委員会
(土砂災害予警報システムプロジェクト)
- (5) 日韓土砂災害防止技術会議
等。

以上のような、さまざまな国際技術協力案件について、当センターでは、国際課を通じて全面的な協力を行っています。

この結果、当センターからの海外派遣実績や、諸外国からの研修員の受け入れ実績は、次のようになっています。

派遣実績			
2001年	12ヶ国	41名	217人・日
2002年	16ヶ国	60名	348人・日
2003年	7ヶ国	22名	134人・日

研修生の受け入れ実績			
2001年	6ヶ国	26名	126人・日
2002年	6ヶ国	22名	134人・日
2003年	7ヶ国	28名	169人・日

このほか、2002年3月から当センター職員1名をネパールの「自然災害軽減支援プロジェクト」に長期専門家として派遣しております。

今後も土砂災害に悩む諸外国に対する“日本の砂防”の技術移転や、日韓、日伊における技術交流や共同研究、さらには国際砂防ネットワークを拡充し、情報交換や情報の共有化といった、より迅速・密接な交流がはかられるものと考えられます。砂防・地すべり技術センターの若い諸君がさらなる研鑽を積み、国際技術協力分野においても大いに活躍することを、期待しています。